

令和6年度 社会福祉法人 大形福社会 メイプル保育園 自己評価表

◎ 全体的な計画に基づく保育・教育の計画の編成と実施に関する評価 ①

【評価】 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する						
項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				
	目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。			○		
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				職員間で話し合い保育を行った。今後も実際の子ども達の姿と照らし合わせながら保育所保育指針に基づく援助・支援を行っていくようにする。
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか。	○				
行事について	行事の種類や実施回数は適切か。	○				コロナウイルスの影響で一旦休止をしていた高齢者施設訪問を、今年度から始めた。普段関わることの少ない利用者の方と触れ合う機会を設けることで、子どもたちの心の成長につなげていける良い機会となった。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	計画・実施・評価・改善の体制を取っているか。		○			
	保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
食育について	食育の計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めているか		○			
	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう食育について見直しや改善を図っているか。		○			

◎ 全体的な計画に基づく保育・教育の計画の編成と実施に関する評価 ②

【評価】 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する							
項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			
		職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		職員の配置は適材・適所か。	○				
		係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	各種会議を適切かつ能率的に進めているか。		○			定例会議の場では、職員間でクラスの課題などを話し合う機会を多めに取るのが難しかった。次年度では解決案を出し合えると良い。
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別クラス運営	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				今年度は、異年齢交流を取り入れて活動を行っていた。今後も交流を増やしていくことで一人一人の成長につなげていきたい。
		年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		年齢別・クラス目標に迫る期間・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		同年齢及び異年齢児間の効率的な活動の充実を図っているか。		○			
		意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	年齢別・クラス運営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			災害時の対応の際、近隣の施設に協力をお願いし、連携を図っていくことになっている。有事の際はお互いに協力し、子どもたちが安全に避難できるようにしていく。
		避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
研究・研修	園内	研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			今年度は園児へのサポートの仕方や、発達を促す遊びを具体的に挙げるなど、実際にクラスでの保育に活かせる様な研修を行った。研修の中で改めて情報を共有することで、今までの保育の振り返り、今後も子どもたちとの関わりをより良いものにしていけると良い。
		所内研修の計画・運営は適切か。	○				
		研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	園外	各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。		○			
		各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

◎ 全体的な計画に基づく保育・教育の計画の編成と実施に関する評価 ③

【評価】 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する							
項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。			○		
		他施設等の乳幼児や生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
		日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
	子育て支援	職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			保護者から相談があった場合など、必要に応じて専門機関との情報共有を行っている。
		医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報発信	保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
		行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に周知しているか			○		
情報		乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
		公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
		各表簿は、適切な時間・応報で作成・処理しているか。	○				
施設・設備		施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・不審者等に対する対応について、朝の登園時時間後の施錠について保護者の方にご協力をいただきながら、徹底して行うように取り組んでいる。実際に不審者が来た場合の対策として催涙スプレーなどの準備も新たに取り入れた。
		遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
		不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
		掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				

全体評価

日々の保育を振り返り、課題が見られたときは職員同士で話をしながら対応に努めた。今後も必要に応じて、職員が連携して保育を行えるよう、会議や研修等の場では積極的に話し合いができるよう工夫していきたい。

今年度から、保護者の方が日中の保育に参加する保育士体験を始めた。お友達との関わり方や、家庭とは違ったお子さんの姿を目にすることで、子育てについて新たな気付きがあった保護者の方もいらっしゃった。子育てに対する思いや悩みなどを共有出来る良い機会になったと思う。

休日保育や一時預かりなど受け入れていく事で、引き続き地域の子育て支援につながるよう努めていきたい。